



琉球大学学術リポジトリ

University of the Ryukyus Repository

Title	わかりやすい家庭電気の常識あれこれ (8月号のつづき)
Author(s)	真栄城, 朝光
Citation	琉大農家便り(60): 9-10
Issue Date	1960-11
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/19792
Rights	

次は質問を受けけるとです。もしも相手の質問に即答できない場合は出席者のだれかに尋ねるか、あるいは後で調べてから返事することを約束すればよいでしょう。しかし、質問を受けるか否かは、デモンストレーターの手由であります。

質問を受けようと思って何の質問もない場合に、相手

の口を開かず方法があります。その一例をあげますと「私達がデモンストレーションを済んでからよく質問されるものの一つは何々である」と言いますとやがてみんながやわらいできます。そうすることによってやがてぞくぞくと質問が飛出して来るであります。

(古 謝 瑞 幸)

わ か り や す い

家庭電気の常識あれこれ

(8月号のつき)

熱として

次は電気ヒーター、電気アイロン、コーヒー沸し等ですがこれらはいずれも電熱線(鉄クローム線)に電気を流しその時生ずる熱を利用してあります。普通1キロワット以下のものが多く使われますが、中には2キロワット以上の大きなものもあります。これらの器具は台所とか、ぬれた手で使う場合が多いのですが、湿気は電気器具には禁物です。湿気がありますと電気はもれ易くなり感電の原因になります。ぬれ雑布等を使って器具を拭きますとビリッとして肝を冷やす事がありますから、必ず乾いた雑布を使うか、手をよく拭いてから器具にふれる様にして下さい。スイッチを切るか、差込プラグをぬいてから掃除をする事も大切です。又停電時にはすぐスイッチを切って置く様にしたいものです。電気ヒーターの故障は電熱線が切れる場合が多い様ですが、応急手当として切れた部分をより合わせて使う事ができます。最もこれは長くは持ちませんから新しい電熱線を買って取り換えれば新品同様に使う事ができます。電気アイロンやコーヒー沸しも断線による故障がありますが温度調整装置のついたものは構造が複雑ですから専門店で修理させた方がよいでしょう。電気ヒーター、コーヒー沸しは木炭やガスに較べてスイッチ一つで取扱うことが出来、清潔で衛生的であることは他の燃料に優っておりますが、残念なことには非常に効率が悪いことです。従って電力料金は

非常に高くなります。

動力として

次は沖繩でも段々使われる様になって来た電気冷蔵庫と洗濯機です。二つ共電気モーターを使っておりますが湿気の多い所で使われますので特に注意を要します。ゴムぞうりやビニールのスリッパの様に電気を通し難いものをはくのも危険を防止する一つの方法です。又アースも是非とって頂きたいものです。アースは水道管か、湿った土の中に埋めた銅板と洗濯器、冷蔵庫を導線でつなぐことです。アースがありますと電気ももれても皆この導線を伝って土の中に逃げて行き、人体には何の害も与えません。

その他

上に述べた器具以外に扇風機、ヘヤドライヤー、電気ゴテ乾燥器、電気毛布と数え切れない程の器具があり、到底一つ一つについて説明することはできませんので電気器具一般について注意すべき事項を述べましょう。

A. スイッチ

スイッチは開閉器とも云われ電気を流したり、切ったりするものです。スイッチにはヒューズを取付けて保安の目的を兼ねたものもありますが、電流の通る部分は金属が使われ、絶縁部分にはベークライトファイバがよく使われております。ヒューズは定格のものを使う様にし針金を代用する様な事は火事の原因ともなりますから絶

対に止めるべきです。又、スイッチには使用すべき容量が記されておりますから規格以上の電流を流さない様に注意して下さい。スイッチにもロータリースイッチ、プッシュボタンスイッチ、パルススイッチと色々なものがありますから取付ける時は工事屋とよく相談した方が良いでしょう。

B. 接 続 器 具

接属器具にはソケット、プラグ、コンセント、コネクター等があります。ソケットはコードの末端に取り付けて電球やその他の器具を接続するものです。二又ソケット耐水ソケット等がありますが、いつれの場合も規格以上の電流を流さない事です。プラグはアイロンプラグの様に特別な型のものもありますが、コードを動かして使う場合が多いので出口の所は傷みやすいものです。ソケットやプラグに電線をつなぐ場合、ネジで留めたコードの先端がとび出して他の金具に触れたり、隣りの線に接したりしない様にしなければなりません。ネジがゆるみますとソケットやプラグは熱を持ちますから時々ネジをしめる様にして下さい。又コードはプラグや器具の入口が最も痛みやすいものですから特に注意して時々点検して見る事が必要です。

以上色々なものについて書きましたが最後に電気器具を取扱う場合の注意事項をまとめて書いて見ましょう。

- 1、ぬれ手、ぬれぞうきんで電気器具を使わない事
- 2、コードをくねらせたり、ねじったりしない事
- 3、ヒューズは必ず定格のものを使用すること
- 4、使用中ソケットや電線が熱くなっているのはネジがゆるんだり、線が半分切れかかっている時ですから修繕して使用すること。（真栄成 朝光）

